

*** 研究目的**

世界的な不況の中でも中国の経済成長は目覚ましい。世界最大の工場だけではなく、最大の市場としても中国が浮び上がっているため、隣国の日本としては中国の活気を如何に取り込め、日本企業は中国企業と如何に連携すべきかなどが自らの成長において極めて重要な課題となってきた。

本研究は、戦略的な視点から日本企業の中国企業との企業間連携の在り方と、企業間情報通信技術（ICT）システムの連携の両面から研究を進め、企業間、経営者間や経営組織間の連携を研究すると同時に、企業間の ICT ネットワークも含め、システムとしてのトータルの連携ネットワークの形成を研究するものである。加えて、日本企業と中国企業間の新たな相互協力の枠組みの形成や日中の経済発展に新たなビジネスモデルを提案するものでもある。

*** 研究チームメンバーと研究課題**

杉田俊明	甲南大学経営学部経営学科 教授	日中企業の経営戦略、経営組織、経営システムなどに対する比較研究
岳 五一	甲南大学知能情報学部 教授	日中企業間の情報通信ネットワークシステムに対する比較研究
呂 廷傑	中国・北京郵電大学 教授	中日企業間の情報通信ネットワークシステムに対する比較研究